

水道事業会計

1 業務の実績

水道事業会計における令和3年度の業務実績について、水道の普及状況は第1表のとおりである。前年度に比べ給水人口、給水件数ともに微増となり、普及率（対給水区域内人口）は前年度と同じ99.9%であった。また、配水管の総延長は6,073kmとなり、前年度より0.2%の微増であった。

第1表 水道普及状況

項 目	3 年 度	2 年 度	増 減	増 減 率
給 水 人 口 (人)	1,966,252	1,965,831	421	0.0%
普 及 率 (%)	99.9	99.9	0.0	—
給 水 件 数 (件)	895,453	887,073	8,380	0.9
配 水 管 総 延 長 (km)	6,073	6,059	13	0.2

(注) 1 給水人口は、10月1日現在の数値である。
2 配水管総延長のkm未満は切捨てしている。増減は切捨て前の数値から算出している。

水量及び施設能力は第2表のとおりである。年間配水量及び年間有収水量は、平成29年度以降の大幅な変動はない。

水道料金の対象となる有収水量の内訳をみると、家事用が前年度に比べ0.1%の減少となった一方、家事以外用は前年度に比べ0.5%の増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛が、前年度に比べて緩和されたことが主な要因と考えられる。また、配水量に対する有収水量の割合である有収率は、前年度に比べ0.3ポイント上昇し93.9%となった。

配水能力に関する指標をみると、施設の平均稼働状況を表す施設利用率は63.0%（前年度63.2%）、施設の年間を通じた有効利用度を表す負荷率は90.9%（同90.4%）、1日の最大配水量に対応する最大稼働率は69.3%（同69.9%）で、負荷率を除き前年度より低下している。

第2表 水量及び施設能力の業務実績

項 目	3 年 度	2 年 度	前年度比較		すう 勢 比 率 (29年度 = 100)			
			増 減	増減率	3 年 度	2 年 度	元 年 度	30 年 度
年 間 配 水 量 A	191,992	192,708	△ 715	△ 0.4%	100.7	101.0	100.2	99.7
1 日 平 均 配 水 量 B	526	527	△ 1	△ 0.4	100.7	101.0	99.9	99.7
1 日 最 大 配 水 量 C	578	583	△ 5	△ 0.9	99.6	100.5	98.5	98.6
年 間 有 収 水 量 D	180,365	180,293	72	0.0	101.6	101.5	100.0	99.5
(うち家事用)	151,703	151,784	△ 80	△ 0.1	105.4	105.5	100.4	99.7
(うち家事以外用)	28,642	28,488	154	0.5	85.1	84.7	98.4	98.5
1 日 配 水 能 力 E	835	835	0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有 収 率 D/A	93.9%	93.6%	0.3	—	0.8	0.5	△ 0.2	△ 0.2
施 設 利 用 率 B/E	63.0%	63.2%	△ 0.2	—	0.4	0.6	△ 0.0	△ 0.2
負 荷 率 B/C	90.9%	90.4%	0.5	—	0.9	0.5	1.3	1.0
最 大 稼 働 率 C/E	69.3%	69.9%	△ 0.6	—	△ 0.3	0.4	△ 1.0	△ 0.9

(注) 1 有収率以下の項目におけるすう勢比率欄の数値は、平成29年度の有収率等に対する各年度比率の差引きを表している。
2 km³未満は切捨てしている。前年度比較は切捨て前の数値から算出している。